

日本生物学オリンピック 2014

本選（つくば大会）

2014年8月16日～8月19日

於：筑波大学

参加のしおり



2014年8月

国際生物学オリンピック日本委員会（JBO）

<http://www.jbo-info.jp/>

<http://www.jbo-info.jp/jbo/JBO2014/jbo2014-02.html>

はじめに

国際生物学オリンピックは、世界約 60 カ国の代表が一年に一度集い、生物学の知識や実験技量を競い合うコンテストです。生物学を志す高校生が様々なプログラムを通して、友情を育む国際交流の場ともなっています。2014 年は、インドネシアのバリ島で行われ、日本代表の 4 名は全員がメダルを獲得するという好成績を修めました。2015 年の国際生物学オリンピックは、デンマーク（オーフス市）で行われます。

日本生物学オリンピック 2014 本選は、予選を通過した 80 名を対象に、2009 年国際大会の会場であった筑波大学にて、実験試験を行うものです。参加者全員（高校 3 年生も含む）のうちから、予選・本選を通じた成績上位者に金メダル・銀メダル・銅メダルが贈られます。また予選・本選の結果を踏まえ、高校 2 年生以下の 15 名が代表選抜試験に進むことになります。

代表選抜試験は 2015 年 3 月 21 日（祝・土）に科学技術館（東京）で行われ、4 名が日本代表として、2015 年国際生物学オリンピックデンマーク大会に出場することになります。

日本生物学オリンピック 2014 本選（つくば大会）では、試験を行うだけでなく、筑波大学での研究体験やエクスカーション、グループワークを通じて、生物学に対する志を抱いている参加者同士の交流を深めるなど、様々な企画を準備しています。

参加・不参加については、8 月 4 日（月）10:00 厳守で、Web サイトから回答もしくは、大会事務局 FAX (029-853-6300) 宛に参加申込書等送信で回答していただき、参加者は、「参加申込書」や「保護者承諾書」等の書類原本を返信用封筒にて、筑波大学生物学類長室内 日本生物学オリンピック 2014 本選（つくば大会）事務局までお送りください。（8 月 7 日（木）必着）

登録 Web サイト 郵送物に記載

ユーザー名：郵送物に記載 パスワード：郵送物に記載

（重要）ユーザー名とパスワードは、関係者以外に漏らさないでください。

Web 登録又は FAX 送信での申込、および、書類原本の郵送は、必ず両方ともお願いします。

- この「参加のしおり」は、皆さんが本選（つくば大会）に参加するための手引き書です。参加のためにご用意いただきたいもの、会場への経路、集合場所、宿泊施設などについてはよく読んで、準備を進めてください。当日も必ずこのしおりをお持ちください。保護者の方は参加申込書・保護者承諾書がある書類に添付の「**保護者控**」を保管願います。
- ご不明な点、不安な点などがありましたら、日本生物学オリンピック 2014 本選（つくば大会）事務局までお問い合わせください。

問い合わせ・連絡先

〒305-8572 つくば市天王台 1 - 1 - 1 筑波大学生物学類長室内

日本生物学オリンピック 2014 本選（つくば大会）事務局

電話：029-853-4553（平日 8:30-17:30）

FAX：029-853-6300

日本生物学オリンピック 2014 本選（つくば大会）

【日程】 2014年8月16日（土）～ 8月19日（火）（3泊4日）

【会場】 筑波大学第2・生命環境エリア（つくば市天王台1-1-1）

【参加費】 無料。期間中の宿泊、食事に関わる費用は主催者が負担します。

ただし、自宅と筑波大学(や宿泊施設)の往復交通費は各自で負担してください。ただし、交通費の援助を学校等から受けられない場合には、その一部を主催者により補助することがあります。(本選参加に伴う旅費補助希望調査票等提出者対象)

【集合時間】 8月16日（土）8:00 ～ 9:00（受付時間）

【集合場所】 筑波大学第2・生命環境エリア 総合研究A棟107室

（「筑波大学中央」バス停から徒歩1分。バス停から会場までは案内板があります。）

【交通手段】 つくばエクスプレス「つくば駅」下車（秋葉原駅から快速で45分、

時刻表：<http://www.mir.co.jp/timetable/index.html>）。つくば駅のバス乗り場（つくばセンター）6番のりばから、筑波大学循環バスがでていています。期間中はお盆時期で土日祝日運行ですが、左回りか右回りのどちらかがは毎時00, 20, 40分に発車します。「つくばセンター」から「筑波大学中央」までの所要時間は左回りだと約10分、右回りだと約15分で、料金は270円です。つくばセンター6番のりばからは、「筑波大学中央」行バスも多数でていて、こちらも利用できます。(所要時間・経路が若干違うが、料金同じ)

時刻表：<http://www.kantetsu.co.jp/bus/rosen/timetable/timetable/center/06.pdf>

つくば駅バス乗り場案内図



筑波大学循環バス路線図



【持物】

- 筆記用具（鉛筆を必ず数本持ってくる） 着替え 雨具（かさ） 帽子
- 洗面道具（タオル、石鹸、シャンプー、歯磨きセット、）
- 実験白衣（ヒザ丈、M, L, LL サイズについては筑波大学で受付後に購入も可能（4,100 円(税込み)）
- 健康保険証（もしくは健康保険証のコピー）
- 往復交通費等
- 生活用品等（歯ブラシ、歯磨き粉、ドライヤー、ひげそり、洗濯洗剤、干しハンガー、洗顔フォーム、常備薬、非常食、おやつ、腕時計、勉強道具、等必要に応じて持参）

* 参考書などは特に必要ありません。

* 実験に必要な器具などはすべてこちらで準備します。

* 開会式会場で、手提げバッグと必要実験器具、Tシャツ 1 枚を配ります。

（Tシャツは 3 日目に全員着用）

* 貴重品は常に携帯願います。金庫、預かりサービスはありません。

【服装】

- 生徒らしい普段着で結構です。
- 実験試験のために、動きやすい服装で参加してください。
（フード、ひも、過度の飾りなどがある服装は、実験中は危険です）
- 靴はスニーカーなどの履きなれたものがよいです。サンダルやヒールのあるものは避けてください。
- エクスカーション（見学旅行）や研究体験等で長時間、屋外を歩くことも考えられますので、帽子等の日よけ対策、雨具等が必要です。（3 日目）

【宿泊・食事】

★宿泊先:二の宮ハウス（茨城県つくば市二の宮 1-6-2）

<http://www.jsthouse.com/ninomiya/index.htm#>

JISTEC（財団法人科学技術国際センター）の管理する外国人研究者用の滞在施設で、筑波大学から 5 kmほどのところにあります。大会期間中、本選参加者のために特別に借りて宿泊して貰う施設なので、滞在中の外国人研究者が多数住んでいます。二の宮ハウスから筑波大学までは毎日専用のバスで送迎します。チェックアウトは最終日（8/19）の朝になります。

重要 二の宮ハウスはホテルではなく外国人長期滞在者向マンションなので、ベッドやテーブル等の家具は用意されていますが、タオル、石鹸、歯ブラシ等の消耗品が用意されておりません。シーツ交換や清掃等のルームサービスもありません。【よくある質問と答え】にも説明がありますので読んで下さい。

★食事:筑波大学第 2 学群食堂などで 16 日昼食から 19 日朝食まで準備します。19 日の表彰式後は交流会で軽食を用意しますが、参加は任意です。

アレルギーなどで食事に制限のある場合は、必ず「参加申込書」に具体的に記載してください。

【体調不良などの場合】

本選（つくば大会）期間中は大学内に救護室を設けていますが、体調不良などの場合は事務局側の判断で、近隣の医療施設での診察を受けることとなりますので、健康保険証（もしくはコピー）を必ずご持参ください。

【Tシャツサイズ】

配布Tシャツサイズ表

スポーツイベント用薄手Tシャツ（ゆったり） ポリエステル100%

男女兼用サイズですが、基本成人男性サイズと考えて可

	XS	S	M	L	XL	XXL
身丈	62	65	68	71	74	77
身幅	44	47	50	53	56	60
衿丈	40	42	44	46	48	52

衿丈:後襟中央から袖先までの長さ



【前泊が必要な場合】

二の宮ハウスで8月15日の宿泊、夕食及び16日の朝食をこちらで手配します。手配の希望の有無を「参加申込書」でお知らせください。

前泊する方は、8月15日17:00よりオリエンテーションを行いますので、16:00~17:00の間に、二の宮ハウスに直接お越しください。

二の宮ハウス住所：〒305-0051

茨城県つくば市二の宮 1-6-2

二の宮ハウスへは「つくば駅」(つくばセンター)から、タクシーや、路線バスの利用が便利です。



二の宮ハウス周辺拡大図



タクシー：約 800~1000 円

路線バス(関東鉄道)：「つくば駅」(つくばセンター)の4番のりばから「ひたち野うしく駅(東口)行」バスに乗り4つ目の停留所「二の宮3丁目」(学園西大通り沿い)で下車し(運賃170円)、徒歩7分程度。当日はつくばセンターから15:50、16:20、16:50に「ひたち野うしく駅(東口)行」バスが発車します。

時刻表：<http://www.kantetsu.co.jp/bus/rosen/timetable/timetable/center/04.pdf>

運賃表：<http://www.kantetsu.co.jp/bus/rosen/faretable/faretable/tc/617.pdf>

やむを得ない事情によりキャンセルや、遅刻する場合にはできるだけ早く連絡してください。

【連絡先】

連絡先 大会期間直前及び大会期間中

〒305-8572 つくば市天王台1-1-1 筑波大学生物学類長室内

日本生物学オリンピック2014本選(つくば大会)事務局

電話: 029-853-4553 (平日 8:30-17:30 及び 大会期間中)

FAX: 029-853-6300 (注) 8/9~14 は本選事務局閉室 休日扱い

携帯番号 080-3340-3221

(携帯電話は8月15日から19日までの期間のみしか通じません。また、緊急時を除き、早朝・深夜の連絡はご遠慮下さい)

【タイムスケジュール】

日	時		場所
1日目 8月16日 (土)	8:00-9:00	受付	総合研究 A107
	9:00-9:30	開会式	総合研究 A110
	9:45-11:45	実験試験予備体験	2D309,2D318
	11:45-13:00	昼食・休憩	2C310, 2C410
	13:00-14:45	実験試験 1・2	2D409,2D410, 2D413, 2D417
	14:45-15:45	休憩 (解説 30 分含む)	2C310, 2C410
	15:45-17:30	実験試験 2・1	2D409,2D410, 2D413, 2D417
	17:30-18:30	休憩 (解説 30 分)・移動	2C310,2C410
	18:30-19:30	夕食	第 2 エリア大食堂
		宿泊	
2日目 8月17日 (日)	9:00-11:20	実験試験予備体験	2D309,2D318
	11:20-12:30	昼食・休憩	2C310, 2C410
	12:30-14:15	実験試験 3・4	2D409,2D410, 2D413, 2D417
	14:15-15:15	休憩 (解説 30 分含む)	2C310, 2C410
	15:15-17:00	実験試験 3・4	2D409,2D410, 2D413, 2D417
	17:00-18:00	休憩 (解説 30 分)・移動	2C310,2C410
	18:00-19:30	夕食・レクリエーション	大学会館食堂
		宿泊	
3日目 8月18日 (月)	8:15-12:00	エクスカーション 移動含む	エキスポセンター(全員), 他 4 機関 (20 名×4 班)
	12:00-13:00	昼食	総 A111,総 A107
	13:00-16:30	最先端研究体験	各研究室
	16:30-18:00	グループワーク 1	2G103,2G205,2G304,2G305
	18:30-20:30	交流会	第 2 エリア大食堂
		宿泊	
4日目 8月19日 (火)	8:00-9:30	グループワーク 2	二の宮ハウス
	10:30-11:30	グループワーク(発表会)	つくば国際会議場中ホール
	11:30-13:00	閉会式・表彰式	つくば国際会議場中ホール
	13:00	解散	
	13:00-14:00	交流会(自由参加・ハンパイヤ ゲ)	つくば国際会議場 1 階エントランス、駐車場等

* 宿泊先である二の宮ハウスと大学の往復や国際会議場等への移動は専用バスを利用します。

【エクスカーション】

3日目は朝から、つくば市にある科学展示施設や研究施設の見学を行います。まず、全員でエキスポセンターへ行きプラネタリウムを楽しみます。その後、記念撮影をしてから、高エネルギー加速器研究機構（KEK）、物質・材料研究機構（NIMS）、地質標本館、国立環境研究所の4つの機関にそれぞれ20名ずつに分かれて見学にいきます。このグループ単位で見学する施設については、5名1組の小グループになって、3日目の夕方から見学内容や課題についてグループワークを実施し、まとめた結果を翌日発表してもらいます。グループでの訪問先(4機関)で、興味ある機関を必ず**2つ**「参加申込書」等にて、お知らせください。希望に添えない場合もあります。

○つくばエキスポセンター

1985年に筑波研究学園都市で「国際科学技術博覧会(科学万博-つくば'85)」が開催された際に、最新の科学技術を紹介し、科学万博を記念する恒久施設として建設されました。博覧会終了後も最新科学技術や身近な科学を親しんでもらう科学館として今日に至っています。

○高エネルギー加速器研究機構（KEK）

高エネルギー加速器は、電子や陽子などの粒子を光の速度近くまで加速して高いエネルギーの状態を作り出す装置で、この装置を使って基礎科学を推進する研究施設です。素粒子・原子核に関する研究、生命体を含む物質の構造・機能に関する研究、加速器の性能向上に関する研究など日本の加速器科学研究の拠点を担っています。

○物質・材料研究機構（NIMS）

有機、高分子材料、無機材料の金属材料やセラミック材料など私たちの生活は様々な物質・材料に支えられています。人類の発展は材料の進歩とともにありましたが、近年は地球規模の環境や資源問題の解決手段のひとつとしても注目が高まっています。NIMSはその物質・材料に関する研究を総合的・専門的に行う研究施設で、未来を拓く物質・材料の研究に取り組む機関です。

○地質標本館

日本に唯一の地学専門総合博物館として、産業技術総合研究所（つくば）内にある展示施設です。研究活動で得られた成果を日本の地質、地下資源、海洋の地質、地球環境、火山と地熱、地震と活断層などのテーマごとに展示しています。岩石、鉱物、化石などの標本も多数展示しています。

○国立環境研究所

幅広い環境研究に取り組む国内唯一の研究所として、1974年に「国立公害研究所」として発足し、1990年に「国立環境科学研究所」に改名され、国内外の環境政策へ貢献や、環境問題を解決するため適切な情報発信する研究施設として環境研究をリードする役割を担っています。

【最先端研究体験について】

筑波大学生命環境系の15の研究室にて最先端の研究に触れます。以下の案内文を参照のうえ、「参加申込書」等にて、興味ある研究室を必ず**5つ**お知らせください。そのうちの1つに参加していただきます。

1. 植物代謝生理学（辻 敬典 先生）「植物の色－カラムクロマトグラフィーによる光合成色素の分析」

植物や藻類は、光合成において光のエネルギーを補足するため、クロロフィルを始めとする様々な光合成色素を持っています。今回は、藻類が持つ色素をカラムクロマトグラフィーにより分離し、その性質を分析し、光合成についての理解を深めてもらいます。

2. 発生生物学（丹羽 隆介 先生）「共焦点レーザー顕微鏡を用いた個体発生過程の観察」

「共焦点レーザー顕微鏡」は、3次元空間情報を高い解像度で得ることを可能にする顕微鏡であり、生物を細胞レベルで理解するための極めて強力なツールです。本体験では、この顕微鏡と多重蛍光標識法を組み合わせ、ショウジョウバエや線虫の発生過程の様々な組織を観察してみます。

3. 分子細胞生物学（千葉 智樹 先生、鶴田 文憲 先生）「マウスの細胞を培養してみよう」

近年の医学薬学の発展に動植物の初代細胞培養実験は多大な貢献をしてきました。本体験では、マウス胎児から組織を摘出し、そこから培養を行う実験を経験してもらいます。また動物実験に対する倫理的な側面についても説明していきます。

4. 再生生理学（千葉 親文 先生）「イモリの体再生を観察しよう」

イモリは体再生のチャンピオンです。再生研究の現場を体感する目的で、イモリの再生を誘導する外科手術を体験したり、再生芽や再生途中の組織を実際に観察したりします。また、再生研究のための様々な技術についても紹介します。

5. 細胞生物学（石川 香 先生）「細胞内のミトコンドリアを観察してみよう」

ミトコンドリアはどんな形？と言われると、俵型の粒々を思い浮かべる方が多いでしょう。そんな常識を覆す画像が観察できるかも？！。この教室では、動物培養細胞中のミトコンドリアを蛍光色素で染色し、その形態を観察するとともに、真の姿がどのような生物学的意味をもっているかを考えます。

6. 化学生物学（臼井 健郎 先生）「薬剤（抗がん剤など）の作用を観察しよう」

私たちの健康を守るため、これまでに数多くの薬が開発されています。今回は細胞分裂期に作用する抗がん剤などの薬剤が動物細胞の紡錘体等の形態にどのような作用を与えるのかを観察します。

7. 植物系統分類進化学（石田 健一郎 先生、中山 剛 先生）「微細藻類の電子顕微鏡観察」

学内の池等から付着珪藻類などの微細藻類を採集し、光学顕微鏡と走査電子顕微鏡をつかって観察します。

8. オルガネラ細胞学（中野 賢太郎 先生、高稲 正勝 先生）「細胞運動や細胞分裂のしくみを顕微鏡でみてみよう」 細胞を構成する元素や基本的分子は生物間でほぼ共通だが、生物種や組織が異なれば細胞の振る舞いや個性荷は特異性が見られる。本体験では細胞の運動性、分裂パターンにおいて細胞の個性が発揮されるしくみについて、特に細胞骨格に注目して顕微鏡観察を行います。

9. 応用動物昆虫学（戒能 洋一先生）「ガの性フェロモンに対する飛翔行動」

夜行性のガの配偶行動は昼間は見られないが、人工照明下で昼夜逆転させることで、日中の時間帯に観察することが出来ます。ここでは、雌のガや合成性フェロモンに対する雄ガの飛翔行動を見て化学物質と行動の関係を知ってもらいます。

10. 植物寄生菌学（岡根 泉 先生、山岡 裕一 先生）「植物寄生菌の採集と観察」

菌類の中には、腐生生活しているものばかりでなく、植物に寄生して病気を引き起こすものや、植物にとって無くてはならない相利共生しているものもいる。今回は、大学構内の身近な植物に寄生している菌類の野外観察と採集を行い、顕微鏡観察を行います。

11. 動物系統分類学（本多 正尚 先生）「カメの解剖と骨格標本」

生物学の基本である解剖を、最も解剖が「難しい？」とされるカメを用いて行います。この体験では、ノコギリやカナヅチを駆使してカメを解剖し、ナベで茹で上げ、骨格標本に仕上げてもらいます。出来た骨格標本は、テイクアウト可です。

12. 植物生態学（廣田 充 先生）「植物の環境への適応を調べてみよう」

動けない植物は、周辺の環境に応じて自らの形態を変化させたり、環境に適した機能を持つことで、その場の環境にうまく適応しています。本体験では、光環境が異なる場所にある植物の葉の形態（葉の断面構造）と機能（光合成）を実際に調べることで、光環境への適応について考えていきます。

13. 系統進化学（橋本 哲男 先生）「生命の樹：生物界全体の系統樹を描こう」

ヒトを含む地球上の全ての生物は共通の祖先細胞から進化してきました。したがって個々の生物種は1つの巨大な系統樹のいずれかの枝に位置づけられます。全ての生物がもつ遺伝子の配列データをもとに、コンピュータを使って生物界を代表する生物の系統樹を描いてみます。

14. ゲノム情報生物学（谷本 啓司 先生）「マウス発生工学とゲノム編集」

ノックアウト/ノックイン・マウスは、遺伝子の機能解析に大変有効なツールです。近年、これらの遺伝子改変マウスを簡単に作成する技術（ゲノム編集技術）が開発されました。本体験では、同技術と発生工学について概説するとともに、培養細胞の観察により、ゲノム編集技術の一端を体験してもらいます。

15. 藻類エネルギー（吉田 昌樹 先生）「藻類オイルの観察」

化石燃料に代わる液体燃料の供給減として、藻類が作るオイルが注目されています。この体験では、炭化水素を作るボトリオコッカスとオーランチオキトリウムの細胞を用いて、細胞の中にどのようにオイルが蓄積されるのかを観察します。また、実用化に向けた大量培養の現場も見学予定です。

【グループワーク】

3日目のエクスカージョンでつくばエキスポセンターの後にグループごとに分かれて訪問する機関について、5名1組の小グループになって訪問先で見たり聞いたりした事や課題等について、3日夕方小グループごとに集まって内容をまとめ、翌日に訪問研究機関ごとに発表をしてもらいます。さらにそのなかから優秀な発表1グループを選び、参加者全員にたいして発表してもらいます。エクスカージョンやグループワークの際には、小グループごとに1台iPadを配布しますので、いろいろ写真を撮って記録を残したり、内容をまとめたり、発表用に使うてもらいます。

【閉会式後の交流会（自由参加）】

閉会式・表彰式終了後、解散となりますが、つくば国際会議場1階エントランスにて、パンと飲み物を用意していますので、自由に食べながら参加者同士やお世話になった大学生スタッフと交流し、別れを惜しみ楽しんでいただけたらと思います。サイエンスシティならではのとおきのアトラクションも用意しています。参加は自由なので、帰宅の交通機関の時間に合わせてお帰りください。

【解散後の送迎について】

つくば国際会議場からつくば駅まで、送迎バスを用意していますので、ご利用ください。

★送迎バス発車時刻等（予定）

乗り場：つくば国際会議場出入り口付近

降り場：つくば駅 A5 出口（Q't 前）付近

1 便 13:30 頃発 13:40 頃着

2 便 14:00 頃発 14:10 頃着

3 便 14:30 頃発 14:40 頃着

★追記

北海道(札幌)、沖縄(那覇)、名古屋、米子、神戸、福岡へ帰宅する方で茨城空港からの飛行機を利用して帰宅する方は事前にお知らせください(行き・帰りの交通経路調査票にて)。帰宅時に茨城空港利用の方は、つくば国際会議場利用者向けの茨城空港までの無料送迎サービスが利用出来ます。(事前届け出必要)。

茨城空港発 飛行機運航状況 (26年8月)

福岡行	15:15 発	17:15 着	
神戸行	16:55 発	18:15 着	
米子行	16:55 発	19:35 着	
名古屋行	18:50 発	19:45 着	
沖縄(那覇)行	18:50 発	22:30 着	(中部(名古屋)経由便)
札幌(千歳)行	20:10 発	21:35 着	

(無料送迎サービスは発時刻の2時間前に集合)

(注意) このお知らせは、国際会議場利用者向けのサービスとしてのお知らせです。本選参加者向けの特別サービスではありません。北海道・沖縄の方以外の利用も制限しませんが、陸路使用時より交通費が高くなるような場合は、参加旅費一部補助が受けられない場合もあります。

【荷物送付について】

近年、荷物を事前送付、帰宅時送付希望者が増えており、以下の方法でのみ対応しています。

事前送付：事前送付することを必ず事務局までご連絡下さい。宿泊場所である二の宮ハウス住所、選手本人名宛にして、発払い宅配便（注：郵便ゆうパックでは届きません）にて送付。

帰宅時発送：事前に発送したいことを必ずスタッフに連絡下さい。(8/18夜まで) 着払い宅配発送票を渡しますので、選手本人名から自宅等への着払い宅配便としてもらいます。宅配発送できるようにきちんと梱包して下さい。8/19の朝、二宮ハウス、又は国際会議場にて発送荷物をスタッフ側で受け取り、宅配業者に引き取ってもらいます。

尚、宅配利用によって生じた荷物の破損・紛失等に関して、本選大会事務局側は一切責任がとれませんのでご理解願います。

【本選期間中の注意事項】

本選（つくば大会）実験試験を受ける際は、休憩の時間も含め、携帯電話の使用はもちろん、携帯することも禁止します。試験日の16、17日の両日に限っては、携帯電話は、宿泊場所へ置いておく（16日当日集合者は大会運営事務局に荷物と一緒に預ける）ことを徹底してもらいます。試験室には掛時計がありますが、腕時計(特殊な機能がないもの)の持参は制限しません。

宿泊施設として利用する「二の宮ハウス」には各居室にインターネット設備（LAN）がありますが、当ハウス滞在住人のみに使用制限されているため、本選参加者の利用は禁止です。部屋設置のモデムはかなり旧式で、間違った接続をされると故障するため、絶対に使用しないで下さい。共用室のパソコン等も全て使用禁止です。尚、集会室やセミナー室等の共用ルームではWi-Fi利用が可能なので、就寝時間までは、そちらでネット利用できます。オリエンテーション時に、短期滞在用ゲストパスワードをお知らせします。

【よくある質問と答え】

Q. 宿泊は一人部屋ですか？受験生なので勉強をしたいのですが。

A. 相部屋です。2名部屋を3名で利用して貰います。国際生物学オリンピックにおいても相部屋になるため、選抜試験の段階から慣れていただくためです。別途、自習室を用意しますので、受験勉強等は自習室をお使いください。

Q. 宿泊施設の二の宮ハウスの利用について詳しく知りたいのですが。

A. 長期滞在外国人用家具付マンションです。各部屋に家具・家電・寝具等の設備はそろっていますが、ホテルのようなサービス（清掃やシーツ等の交換）はありません。フロントもありません。設備品は基本使用して構いませんが、破損し易い特殊な装備があったりして注意も必要です。設備等破損した場合は弁償して貰います。各部屋以外は共用スペースで基本は滞在用です。宿泊期間中は、外国人家族住人の迷惑にならないよう心がけて下さい。

今回、各部屋に人数分の布団セットとバスタオルのみ、バスマット部屋1枚、ゴミ袋やペーパー類は各部屋に配布します。他は一切ないため、各自入浴・洗顔タオルや石鹸・シャンプー・歯ブラシ・歯磨き粉・ドライヤー等は持参してください。食器や洗濯機使用希望者は、洗剤・スポンジ・干しハンガー等も各自持参願います。大会期間中は、自由に買い物出来る時間・場所はありません。夜の外出も禁止なのでご了解願います。

詳しくは、初めて宿泊する際に受けていただくオリエンテーションにて、説明がありますので、そちらに従ってください。本選参加者宿泊中は大会運営スタッフが数名滞在し、各種支援をします。

Q. 実験試験予備体験とはなんですか？

A. 実験試験においては器具を使ったことがあるかどうかで差が出てしまうことがあります。そのようなことを防ぐため、器具等の使い方を事前に体験してもらいます。



つくば駅（つくばセンター） - 二宮ハウス 周辺地図

二の宮3丁目バス停

バス停「二の宮3丁目」は、Right-on (カジュアルショップ)、タップスイミングの近く。

降車後、靴流通センター方面に向かい近くの交差点で大通りと平行の細道を南大通り方面に進み茶色壁のマンション（右側）。わかりにくそうであればセンターからタクシーをご利用下さい。